



# 市税の納め忘れは ありませんか

## 12月は市税完納強調月間

**問い合わせ** 納税課（市庁舎2階、**☎**65・4128、65・4129、65・4126）

市では、12月を市税完納強調月間として、市道民税、固定資産税、軽自動車税などの市税を滞納している人に対し、電話督促、訪問督促、財産調査、差し押さえ処分などの実施を強化します。

### 夜間と土・日曜日に 相談窓口を開設

12月1日から7日まで、水曜日を除く平日の夜間と土・日曜日に、納税課に納税相談の窓口を開設します。また、年間を通して祝日を除く毎週火曜日は、夜間窓口を2時まで開設しています。仕事の都合などで昼間に相談することが難しい人は、利用してください。

### 12月の納税相談窓口日程

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

○印は8時45分～20時  
開設時間

☆印は8時45分～17時30分  
他の平日は8時45分～17時30分  
納期内納付にご協力ください

市税は、市民サービスの提供や住みよいまちづくりを進めるための重要な財源です。健全な市政運営を進めるためにも、納期内の納付にご協力をお願いします。

口座振替をご利用の人は、振替日に残高不足とならないよう確認してください。

**平成30年度  
今後の市税の納期限**

固定資産税・都市計画税  
(第4期)  
**平成30年12月28日(金)**

---

市道民税  
(普通徴収分・第4期)  
**平成31年1月31日(木)**

### 納税が困難なときは相談を

納期限までに納付されない場合は、本来の税額に加えて、延滞金が増加される場合があります。また、督促状や催告書、電話などで催告しても納付されない場合は、やむを得ず財産（預金や給与、不動産など）を調査の上、差し押さえなどの滞納処分を実施することがあります。

「災害や事故、病気、失業などで納めることができない」「一度に納めることが難しい」など、やむを得ない事情がある場合は、そのままにせず、早めに納税課に相談してください。

### コンビニでも納められます

バーコード付きの納付書は、金融機関のほか、セブンイレブン、ローソン、セイコーマート（北海道・関東地区）でも納めることができます。納付書を紛失した場合は再発行できますので、納税課まで連絡してください。

※ただしコンビニ各店では、一枚の納付書が30万円を超える場合は納付できません。

### 市税の納付は便利で確実な 口座振替にしませんか

市税の納付を口座振替にすると、納付する手間が省け、納め忘れもなく便利です。

口座振替の申し込みは、市内に本店または支店がある金融機関が対象です。▽振替をする預金通帳▽通帳の印鑑▽納税通知書を持って、各金融機関または納税課（ゆうちょ銀行希望の場合は納税課）の窓口で手続きをしてください。

### ペイジー口座振替受付サービスをご利用ください

キャッシュカードと暗証番号だけで、納税課の窓口で簡単に口座振替の手続きができます。

### 【利用できる金融機関】

- 帯広信用金庫
- 北海道銀行
- 北洋銀行
- ゆうちょ銀行



### 市長コラム

## 夢かなうまち おびひろ

創る、観る、支える

帯広市長 米沢 則寿



文化・芸術には、作品を鑑賞して、理解してくれる人の存在も、大切です。海外の美術館では、小学生の子どもたちが、絵画の前で行儀よく体育座りをし、引率の先生による歴史的背景や画法などの解説に熱心に耳を傾けている光景をよく見かけます。私の子ども時代は、鑑賞方法や楽しみ方を教わる機会があまり無かったため、とてもうらやましく感じました。

文化・芸術を育むには、観る人の鑑賞力や感性を養うことも大事なこともありません。

「観る」人が増えれば、おのずと活動を「支える」ことにも、つながります。発表の場などを提供する行政、賛同し協賛してくれる企業。後方支援のボランティアの皆さんも「支える」一員です。どんなことでも、一部の人に負担がかかることと長続きしないものですが、誰もが無理せず、応援していくことができれば、活動はますます広がっていくのではないのでしょうか。

作品を創ることが楽しい、大勢の人が観て楽しい、そして、それを応援している人たちも楽しい。この三つの「楽しい」のバランスを保つことで、豊かな文化・芸術活動が育まれるまちになっていくのだと思います。

4年ぶりとなる帯広市民バレエ「コッペリア」の公演が12月16日に迫り、7月末から積み重ねてきた練習も、佳境に入っているようです。当日は、私も街の市長役として出演し、十勝・帯広のバレエダンサー、帯広交響楽団や舞台スタッフ、総勢200人の皆さんと共演する予定です。創る人、観る人、支える人、みんなで感動を共有したいと思います。

以前、東京藝術大学の副学長にお会いしたとき、「帯広には、市民バレエや市民オペラ、交響楽団などであるんですね」と感心されて、誇らしく感じたことを思い出します。帯広の都市規模で、常設の市民オーケストラが活動している例は、珍しいそうです。

市民が主体となった文化・芸術活動は、音楽に限らず多種多様な分野で広がりをみせ、今年の「おびひろ市民芸術祭」でも、1300人を超える方々が数多くの作品を発表されています。

文化・芸術に情熱を注ぎ、活動し続ける原動力は、どこから生まれるのでしょうか。

自身の内面を表現する喜び、仲間と一緒に作品づくりに取り組む連帯感。「創る」過程には、たくさんの気付きや充実感があり、それが創造の意欲をかき立てるのだと思います。